

2026 年 8 月 20 日

各 位

株式会社マーキュリアホールディングス
Airborne Capital Limited

オープンエンド型航空機ファンド「マッハ OE」が初の航空機引渡しを完了

株式会社マーキュリアホールディングス（以下、「MHD」）の子会社である株式会社マーキュリアインベストメント（以下、「MIC」）及びアイルランドに本社を置く航空機アセットマネジメント会社である Airborne Capital Limited（以下、「ACL」）が 2026 年 4 月に立ち上げたオープンエンド型航空機ファンド（以下、「マッハ OE」）は、このたびユナイテッド航空向けボーイング 737 MAX 9 を 2 機受領しました。

2026 年 7 月 29 日及び 30 日、マッハ OE は、新造ボーイング 737 MAX 9 航空機 2 機の引渡しを受け、ユナイテッド航空との長期リース契約を締結しました。これらの航空機は、オープンエンド型ファンドのシードポートフォリオとして今後数か月の間にマッハ OE が取得を予定している複数の航空機の第一弾となります。

2026 年 1 月 15 日に公表の通り、MIC と ACL は、新たなオープンエンド型航空機ファンド・マッハ OE を共同で設立・運営しております。また、株式会社日本政策投資銀行がアンカー投資家として参加し、2026 年 4 月 30 日に初回クローズを完了しました。さらに、MIC 及び ACL は、株式会社大和証券グループ本社（以下、「大和証券グループ本社」）のグループ会社である大和かんぽオルタナティブインベストメンツ株式会社（以下、「DKAI」）との戦略的業務提携契約を締結しております。同じく大和証券グループ本社のグループ会社である大和アセットマネジメント株式会社及び DKAI は、運営支援サービスの提供や幅広い投資家層の紹介を通じて、マッハ OE の成長加速を支援しています。

マッハ OE は、本邦運用会社が手掛ける航空機ファンドとして、オープンエンド型で提供される初の取り組みです（MHD 調べ）。金融機関や年金基金、事業会社、学校法人等の機関投資家を主な出資者として見据えており、今回初となる航空機引き渡しを皮切りに投資資産規模約 1,500 億円を目指し、随時ファンド規模を拡大して参ります。

■ MIC 代表取締役 豊島俊弘氏 コメント

「近年の先進国財政の悪化やそれに伴うインフレーション、円為替レート下落などへのヘッジとしてオルタナティブ投資分野では実需のあるモノへの投資が注目されておりますが、航空機はその中でも理想的な投資対象であると考えております。最新技術を採用し、市場で高い需要を有するボーイング 737 MAX 9 の取得は、マッハ OE ファンドの立ち上げにふさわしい案件です。今後、さらなる資産を組み入れ、投

資家の皆様の期待に応えていきたいと考えております。」

■ Airborne Capital CEO ラムキ・スンダラム氏 コメント

「これらの高品質な航空機資産をマッハ OE ファンド向けに組成・取得するにあたり、MIC チームと協働できたことを大変嬉しく思います。現在も MIC チームとともに追加の資金調達及び資産案件の組成に取り組んでおり、今後さらにマッハ OE を成長させていくことを目指しています。」

■ 各社概要

【株式会社マーキュリアインベストメントの概要】

会社名 : 株式会社マーキュリアインベストメント
本社所在地 : 東京都千代田区内幸町 1 丁目 3 番 3 号内幸町ダイビル
事業内容 : ファンド運用事業及び自己投資事業
代表者 : 代表取締役 豊島 俊弘
Website : <https://www.mercuria.jp/>

【Airborne Capital Limited の概要】

会社名 : Airborne Capital Limited
本社所在地 : 5thFloor The Exchange George's Dock IFSC Dublin 1 Ireland
事業内容 : 航空機リース案件の組成・管理、航空機関連アドバイザリーサービスの提供
代表者 : Chief Executive Officer and Partner Ramki Sundaram
Website : <https://airborne.capital/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マーキュリアホールディングス 事業企画部 03-3500-9870

Airborne Capital Limited +44 203 178 68 68 / airbornecapital@peregrinecommunications.com